

令和4年9月台風14号における 野村ダム・鹿野川ダムの洪水調節効果について ～下流河川の水位低減～

肱川上流域は令和4年9月17日から20日にかけて、台風14号の影響により、野村ダム上流域で約238mm、鹿野川ダム上流域で約271mmの累計降雨を観測しました。

今回の出水では、肱川上流域の野村ダムと鹿野川ダムで洪水調節を行い、下流河川の水位を低減しました。

その効果は、大洲第二水位観測所（肱川橋地点）および大川水位観測所（菅田地区）における水位を約0.3m低下させ、大洲第二水位観測所の氾濫注意水位への到達を回避させたと推定されます。

なお、資料内の数値は速報値であり、今後修正する可能性があります。

本施策は、広域地方計画【No.1 南海トラフ地震を始めとする大規模自然災害等への「支国」防災力向上プロジェクト】の取組に該当します。

《問い合わせ先》

国土交通省 四国地方整備局 肱川ダム統合管理事務所

管理課 Tel:0894-72-1211（代）

副所長 松坂 幸二（内線：204）

管理課長 石丸 満久（内線：331）◎

鹿野川ダム管理支所 Tel:0893-34-2350（代）

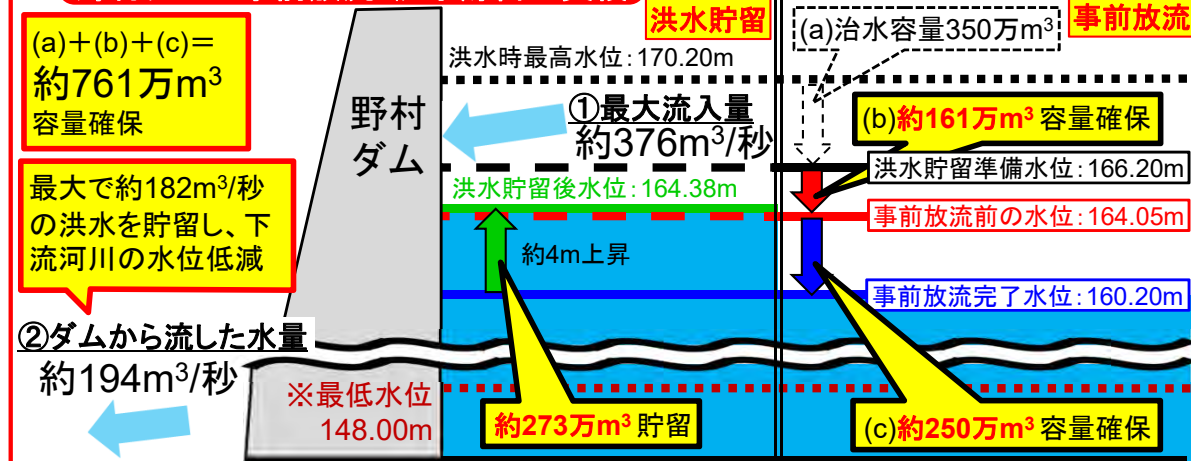
支所長 井上 博文（内線：6121）◎

令和4年9月の台風14号に伴う大雨 野村ダム・鹿野川ダムの効果

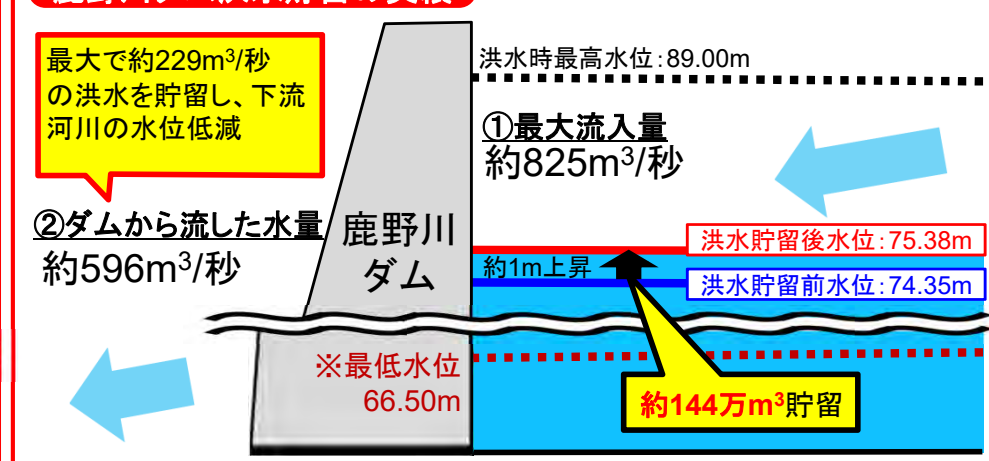


- 台風14号に伴う大雨により、野村ダム上流域では約238mm(9月17日15時～20日3時)、鹿野川ダム上流域では約271mm(9月17日11時～20日8時)の累計降雨を観測。
- 野村ダムでは事前放流により洪水調節容量と合わせて約761万m³を確保し、約273万m³の洪水を貯留(最大で約182m³/秒を貯留)。
- 鹿野川ダムでは最大で約229m³/秒、合計約144万m³の洪水を貯留。
- 野村ダムと鹿野川ダムの2ダムにより、**肱川橋地点および菅田地区の水位を約0.3m低減し、肱川橋地点の氾濫注意水位を回避できた**と推定。

野村ダムの事前放流・洪水貯留の実績



鹿野川ダム洪水貯留の実績



2ダムによる肱川橋地点および菅田地区の水位低減効果

